

なんじゃもんじゃ

Vol. 37

Municipal Ena Hospital Public Relations Magazine

INDEX

ノロウイルスの話	…1
病床管理委員会	…2
恵那病院救急外来受診について	…2
臨時介護職員募集	…2
QI活動発表会を開催しました	…3
外来担当表	…4
クイズ	…4
編集後記	…4



恵那病院HP 病院Facebook



当院は平成22年より
(財)日本医療機能評価
機構の認定を受けてお
ります。

ノロウイルスの話

寒い季節の感染症といえばインフルエンザが思い浮かぶと思いますが、下痢や嘔吐などの激しい症状のするノロウイルスもこの時期忘れてはならない感染症です。

ノロウイルスは糞便や嘔吐物に大量(1gあたり100万個から10億個)に含まれ、わずかに10個から100個程度が口から入るだけで感染し、24時間から48時間後には下痢、嘔吐、腹痛などを引き起こします。3~4日で症状は改善しますが、症状が良くなっても1週間から4週間くらいはノロウイルスが便に出続け、感染源になります。乾燥した状態でも4℃では60日間、20℃でも3~4週間生存できるといわれます。ほとんどが手指や食品を介して口から感染しますが、その生命力と感染力により、乾燥した排泄物を吸い込んで感染することもあります。検査は便を使いますが、保険が適応される対象は3歳未満65歳以上および検査の必要性が高いと医師が認めた場合に限られます。(詳細は医療機関でお訊ねください。)治療は対症療法だけです。インフルエンザのようにワクチン(=予防)や抗インフルエンザ薬(=治療薬)はありません。特に、高齢者や乳幼児は脱水から重症化することがあるため、飲水や点滴で水分や電解質(塩分やカリウムなど)の補給を心掛けましょう。また下痢止め薬は症状が長引いたり悪化させたりすることがあるためお勧めしません。感染を拡大させないポイントは「手洗い」、「汚物処理」、「消毒」、「食品の加熱処理」です。

- 手洗い: 次の場合は石鹸を使って洗い流水で十分に流しましょう。
 - ・排便の後
 - ・下痢や嘔吐を処理した後
 - ・症状がある人が触れた場所に接触した後
 - ・調理前
 - ・食事前
 嘔吐や下痢がある人は使い捨てのペーパータオルや個人専用のタオルを使用しましょう。
- 汚物処理: 大量にノロウイルスが含まれる排泄物(吐物、糞便)を処理する場合は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを使います。使い捨てのビニール手袋やエプロンやマスクを着用し、ペーパータオルなどで広がらないように静かに拭き取って処

理してください。処理した排泄物や使用済みの手袋などはゴミ袋に入れ、全体に行きわたる程度の0.1%次亜塩素酸ナトリウム希釈液を入れて密閉して廃棄します。処理後は手洗いしましょう。

- 消毒: 食器や環境や衣類の消毒には0.02%次亜塩素酸ナトリウム希釈液や熱湯を使い消毒します。次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があるため、消毒後は十分に薬剤をふき取りましょう。
 1. 食器類はすぐに次亜塩素酸ナトリウム希釈液に浸して消毒します。
 2. また症状がある人が触れてウイルスが付着する可能性のあるところは、ビニール手袋をして次亜塩素酸ナトリウム希釈液に浸したペーパータオルで毎日こまめに拭いて消毒してください。
 - 例: トイレ、手すり、ドアノブ、水道の蛇口、机、いす、引き出しの取手、車椅子の押手、ベッド回り、三輪車、幼児の散歩用のキャリー、おもちゃ等
 3. リネン類は排泄物を取り除いた後に次亜塩素酸ナトリウム希釈液に30分から60分間浸します。生地の色落ちが気になる衣類は85度で1分以上熱湯消毒をする方法もあります。つけ置き消毒後は通常通り洗濯をします。
- 食品の加熱処理: 感染の恐れがある食品は十分に加熱(中心温度が85度から90度に達してから90秒以上)すると感染を予防できるといわれます。

次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法について

市販の次亜塩素酸ナトリウムの原液の濃度は商品により1%~12%程度と様々ですが、今回は消毒用ハイター(次亜塩素酸ナトリウム濃度5-6%)を例に希釈方法をお示しします。0.1%(1000ppm)の希釈液はハイター原液10ccを500ccのペットボトルに加えて作ります。0.02%(200ppm)の場合は、原液10ccを2Lのペットボトルに加えて作ります。希釈液は時間がたつと効果が低下するためその都度作りましょう。キャップの容量が本体容器に記載されているので希釈する際に参考になります。(希釈液でも人体に直接使用はしないでください)

(総合診療部長 吉田 力)

病床管理委員会

委員会紹介



当院の位置する東濃地区は高齢化が進み、2015年(推計)では30%を超えます。

病床管理委員会は、病床の効率的な運用や病院職員、施設の有効活用を検討する病院運営に関わる重要な委員会のひとつです。医師、各病棟・外来看護師長、退院調整室、事務職員で構成され、患者さんの円滑な入退院の支援ができるよう活動しています。

当院の病床構成の特徴として、主に急性期の治療を行う一般病棟と在宅復帰のための回復期リハビリテーション病棟が併存していることがあげられます。回復期リハビリテーション病棟(H26.9.1設置)では、手術や投薬など急性期の治療後、自宅への退院に向けて、日常生活機能の向上や体力の回復を目指したリハビリを行います。また、この病棟

では、院外からもリハビリを必要とする患者さんを受け入れています。多職種からなるチームのスタッフがそれぞれの専門性を活かし、患者さんにとってより良いリハビリ・在宅復帰支援を提供できるよう努めています。

また患者さんの中には、身体的機能の回復以外の諸事情により退院が困難な場合もあります。当院では医療ソーシャルワーカー(相談員)3名と看護師1名を退院調整部門に配置し、入院中・退院後の生活に関する相談を行っています。診療所や介護施設等とも連携し、患者さんが安心して退院できるよう支援しますので、お気軽にご相談ください。

(医事課 安藤嘉英)

恵那病院救急外来受診について



来院される前には必ず電話で症状などのご連絡をお願いします。

救急外来の状況により、電話をお待たせする場合があります。ご了承ください。

受診される際には、「お薬手帳」をご持参下さい。

救急外来では、重症度の高い患者さんを優先に診療を致します。

重症患者さんの処置に時間を要する場合は、長時間お待たせする場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

円滑な救急医療を行うため、診療時間外は、なるべくかかりつけ医・当番医・休日診療所をご受診下さい。

「かかりつけ医」を持ちましょう。

- 1.一人の医師と長く付き合うことで、病歴や体質などを分かった上で診察してもらえます。日頃から顔なじみの開業医さん(家庭医・ファミリードクター)
- 2.家族の健康もサポートしてくれます。
- 3.待ち時間が比較的短くなります。
- 4.必要に応じて専門的治療など受診や入院が必要な場合にも、適切な病院・診療科を紹介してくれます。

地域医療振興協会 市立恵那病院

臨時介護職員募集 (通所リハビリテーションセンターほほ恵み)

雇用形態：臨時職員

休日：第3以外の土曜日、日曜、祝祭日

有給休暇、特別休暇(リフレッシュ休暇などあり)

職種：介護職員(介護福祉士)
介護助手

備考：勤務成績等により正職員の登用もあり

市立恵那病院(担当 森井)TEL0573-26-2121



QI活動発表会を開催しました（上位発表内容のご紹介）

平成27年2月13日リハビリ室にて、平成26年度QI活動発表会を開催しました。

QI(Quality Improvement)とは、「質の向上・改善を意味し、院内13部署がそれぞれ一年間の取り組みについて発表しました。その中から幹部職員によって上位に評価された5部署の活動について、概要を紹介します。



放射線室

「みんなで感染対策！

～清潔な放射線室を目指して～」

放射線室内が吐物などで汚染された際、清掃・消毒用物品がバラバラに保管されていたり、職員間で手順が共有されていないなどの問題点がありました。そこで、清掃・消毒用物品をワゴンにまとめて収納し、手順書をそのワゴンに備え付けるよう工夫することで、物品の管理や清掃・消毒手順が統一されるようになりました。

リハビリテーション室

「活かして伸ばそう患者さんの能力」

入院中のリハビリ患者さんにとって、病棟での自己訓練は回復を早めるためにも重要です。リハビリで杖歩行の訓練中でも病棟では車椅子移動など、活動レベルにずれが生じていることがありました。リハビリ室と病棟の間で患者さんの状態について情報共有を密にすることで、活動能力のずれを少なくし、患者さんの回復を早めることができました。

3病棟

「園芸福祉を取り入れ入院生活を楽しくしよう！」

高齢の入院患者さんの中には、農業経験者が多かったため、市内の農業高校の協力を得て、病棟前の畑で作物を育てたり、フラワーアレンジメント教室などの園芸体験を取り入れました。娯楽の少ない入院生活中の楽しみとなり、患者さんの回復の一助となりました。

通所リハビリテーションほほ恵み

「アンチエイジング」

通所利用者さんの平均年齢が84歳と超高齢であり、活動性を維持することが生活意欲の向上と健康長寿に結びつくと考え、通所でのメニューに座ったままでもできる体操やエクササイズを取り入れてみました。活動性維持についてはまだ課題が残りましたが、利用者さんには健康意識の向上と気持ちの若返りをみる事ができました。

2病棟

「言葉はわかりやすく、笑顔の輪」

病院職員が日常使用している言葉には、一般的に分りにくいものも多く、患者さんや家族の説明時に誤解を招くこともありました。分りにくい言葉を一覧カードにし、職員で共有することで、患者さんにわかりやすく言い換えて説明できるようになりました。